

文芸小くらがわ

短歌

【石瀬短歌会】

身の丈をはるかにこえる雑草の中になげに鈴蘭さけり

広沢 日出子

居場所なき子らのため作られし駄菓子屋に屈託のなき笑顔あふるる

久保悦子

頼りなく早苗が揺れる休み明け入りくる水音勢いがある

雨谷友子

美しき時を見ぬままくずれたる白薔薇もろてに掬えば芳し

大久保 富美江

大谷がトラウト制しWBC世界一なり朝酒許せ

鈴木英雄

寒暖の差のはげしかる昨日今日つげの小花が庭に咲きゐる

古賀澄

チャットAIわれの未だ見ぬ世界にて便利で危険な諸刃の刃

泉三郎

「娘です、母は施設に居ります」友の娘の電話の声に胸がいたみぬ

川崎 邦子

春深し朝日トンネル抜けゆけば純な「踊子」待つかもしれぬ

小林 美瑛子

「水色に決めたのわたし」ランドセル背負った孫の弾む声聞く

浜野和操

田植え待つつ田んぼの中は南無阿弥陀、南無阿弥陀仏カエルの合唱

児玉 廣子

青春の木綿のハンカチ思つたび今も胸キュン昨日のように

大関 登志子

天つ日を受けてかがよふ柿若葉部屋の中まであかるむ五月

瀧井 幸子

ガーベラの花びら一片ずつ抜いてお茶のついで恋の占い

瀧田 勇

娘の部屋に「藤娘」の額かけてある山藤咲けばまた懐かしく

渡辺しな子

【一般投稿】
桜川水源を辿り来て回帰の思ひ埒なく募る

渡辺 弘明

俚謡

【さくら俚謡会】

夏が来たよと鳴く蝉あれど蝉を取る子の姿ない

山もみじ

墓へ被った大杉残し山間集落消えてゆく

花野しぐれ

カーナビ姐さん左へ行けと俺は知ってるここは右

みーちゃん

暑い夏の夜亡父母偲び冷えたビールで蘇る

田哲人

俳句

【一般投稿】

幼な子の来宅うれし春うらら

長堀 芳江

風物詩木障払いして盆を待つ

長堀 勉

身長も、のびてわが孫、変声期

青木 勲

スミハツサマーフェスティバル!!

【日時】 8月26日(土) 15:30~19:35
【場所】 株式会社スミハツ (桜川市高森1158)
【お問合せ】 TEL: 0296-58-5161

・豪華ゲストによるステージショー(観覧無料)
・従業員による模擬店の出店
・豪華抽選会(参加無料)

スミハツ
SUMIHATSU

☆ご来場お待ちしております☆

※天候により中止する場合がございます。フェスティバル詳細、中止のお知らせはHP「新着情報」でご確認ください。HP: <https://www.sumihatsu.com/news/>

